

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-820	14-018	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol consumption and risk of incident rheumatoid arthritis in women: a prospective study. 女性のアルコール摂取と関節リウマチ発症リスク：前向き研究		
<b>執筆者</b>		
Lu B, Solomon DH, Costenbader KH, Karlson EW.		
<b>掲載誌</b>		
Arthritis Rheumatol. 2014 Aug;66(8):1998-2005. doi: 10.1002/art.38634.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
関節リウマチ、アルコール、前向き研究		24729427
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> 女性のアルコール摂取と関節リウマチ発症リスクの関連について、2つの大規模前向き研究である Nurses' Health Study(NHS)と NHS II を用いて検討した。</p> <p><b>方法：</b> NHSは1976年に121,701人の、NHS IIは1989年に116,430人の、米国の看護師を対象とした前向きコホートである。生活習慣と環境は質問票を用い、アルコール摂取量は食物摂取頻度調査により4年ごとに評価した。関節リウマチ発症は膠原病のスクリーニングのための質問票と診療記録により確認した。コホートごとの関節リウマチ発症のハザード比は、Coxハザードモデルを用いて推定し、2コホートの統合解析は、DerSimonian and Laird random-effects modelを用いて算出した。</p> <p><b>結果：</b> NHS では 1980 年から 2008 年(1,900,000 人年)の追跡期間に、関節リウマチは 580 件確認され、NHS II では 1989 年から 2009 年(1,780,000 人年)の追跡期間に、関節リウマチは 323 件確認された。2 コホートの統合解析の結果、非飲酒者を基準としたとき、1日 5.0-9.9g のアルコール摂取者の関節リウマチ発症の多変量調整ハザード比は 0.78 (95%信頼区間 0.61-1.00)、血清反応陽性関節リウマチ発症の多変量調整ハザード比は 0.69 (95%信頼区間 0.50-0.95)で強い関連を認めた。また、週に 2~4 回ビールを飲む者は、非飲酒者に比べ関節リウマチ発症リスクが 31%低下した。</p> <p><b>結論：</b> 本研究では関節リウマチ発症と長期間の適度な飲酒には中等度の関連があり、発症リスクが低下することを示した。他の集団でも同様の関連を認めるか検討が必要である。</p>		